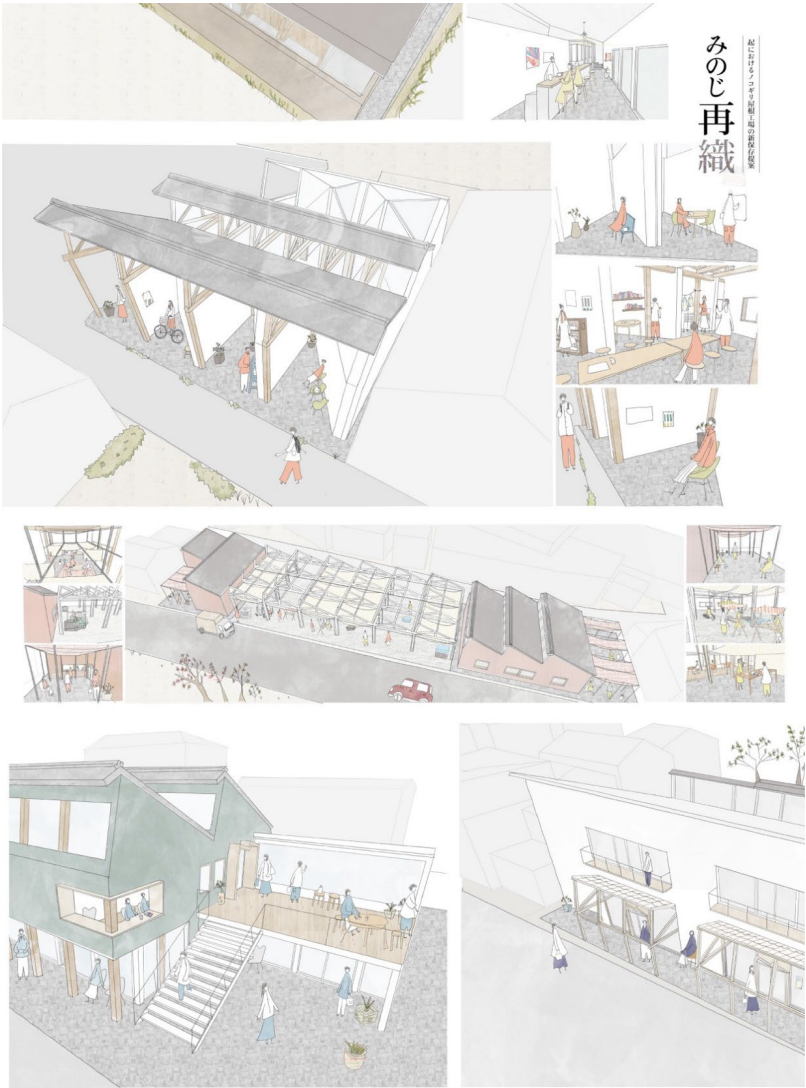


学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2022年	
受賞タイトル	奨励賞	
区 分	Ⅳ. 都市ディスプレイデザイン	
フリガナ	キマタ サヤカ	
制作者名	木全 彩弥花	
フリガナ	ダイドウダイガク コウガクブ ケンチクガクカ	
大学・学部・学科	大同大学 工学部 建築学科(2022年3月卒業)	
フリガナ	ムトウ タカン	職名
推薦者名	武藤隆	教授
作品名	みのじ再織 -起におけるノコギリ屋根工場の新保存提案-	
概 要	本提案では、自身の当たり前の日常を構成する尾州の毛織物産業の記憶を読み解き、その記憶を建築的、まちづくり的要素に置き換え、継承していくことを目的としたノコギリ屋根工場の新たな保存法を考えた。その保存法を「再織」と名付け、愛知県一宮市起町美濃街道に実際に現存する工場としての機能を失った7つのノコギリ屋根工場を選定し、6つの再織の事例を提案した。 	

製作者名	木全彩弥花
作品名	みのじ再織-起におけるノギリ屋根工場の新保存提案-

【コンセプト解説】

私の地元である愛知県一宮市は、織物の街として発展を遂げ、その北側採光の鋸屋根の機織り工場が街の至る所に点在し、ノギリ屋根のある風景を作り出している。しかし、産業の衰退とともにこのノギリ屋根工場は倉庫化、空き家化さらには取り壊しといった現状にある。そうした現状から、自分を含め、このまちの人々のあたりまえの風景の記憶が少しずつ薄れていっているような印象を受けた。本提案では自身の当たり前の日常を構成していた尾州の毛織物産業の記憶を読み解き、その記憶を建築的、まちづくり的要素に置き換えて、継承していくことを目的としたノギリ屋根工場の新たな保存法を考える。そこで、この保存法を再織と名づけ、ノギリ屋根工場の再織事例として、愛知県一宮市起町の旧美濃街道沿いに現存する工場としての機能を失った7つのノギリ屋根工場を選定し、6つの再織の事例を提案した。

